

「かわりものの最上川」

米沢中央高等学校副校長 佐藤五郎 氏

(要旨)

最上川は流域面積 (7,040 平方キロメートル) で全国第 9 位、河川長 (229 キロメートル) で第 7 位の大川である。その幹川流路は、河口からおよそ 50~80 キロ付近で流れを北流から西方に急転するなど、特徴的な流域形状が見られる。さらに水質の面でも変則的な特徴があり、地形や県民の生活と深くかかわっている。このような他の河川とは異なる面に視点をあて、歴史的変遷も交えながら最上川を捉えてみる。